

## 2025 年度 公益社団法人 日本雪氷学会 北海道支部 第3回理事会 議事録

### 1. 日時

2025 年 12 月 10 日 (火) 15 時 00 分～16 時 30 分

### 2. 場所

(一社) 北海道開発技術センター大会議室兼オンライン(zoom)

### 3. 出席者

(理事) 尾関、白川、千葉、大宮、川村、齋藤、西田、原田 (康) 、桑原、原田 (裕) 、渡邊、小西(12名)

(監事) 金村

(委任状提出) 杉田、八久保、箕輪、大鐘(4名)

以上、敬称略

※進行：千葉副支部長、記録：小西

### 4. 議事

#### (1) 前回理事会 (2025 年度第 2 回) の議事録説明 (報告)

小西理事より、2025 年度第 2 回理事会の議事録について報告がなされた。

#### (2) 次年度の理事体制について (審議)

小西理事より、各理事の今年度時点での在席年次について確認が行われた。

その結果、原田事業担当理事および伊東監事について、次年度が慣例上の交代年度に当たることが確認された。また、在席 3 年目の理事についても、4 年目継続の可否に関する意向確認を行うとともに、理事会体制のコンパクト化および業務量の圧縮を並行して検討する必要性が確認された。

#### (3) 雪氷研究大会 (2026・北見) の準備状況について (報告)

白川副支部長より、雪氷研究大会 (2026・北見) の準備状況について報告がなされた。主な報告事項は以下のとおり。

- ・ 12 月 2 日に第 1 回実行委員会をオンラインで開催
- ・ 実行委員会規約が承認され、実行委員長に亀田先生 (北見工業大学) を選任
- ・ 副実行委員長は八久保先生 (北見工業大学) および白川先生 (北見工業大学) とし、白川氏は幹事長を兼務

- ・ 大会のコンセプトは「コンパクト化」とし、実行委員数は合計 24 名に絞り込む
- ・ 今後の学会運営の持続可能性を意識し、北見大会をコンパクト運営のモデルとする
- ・ 会場費は大学施設を利用することで低コスト化を図る
- ・ 大会 Web は Confit 上で一体運用し、約 40 万円の経費削減を見込む
- ・ 公開講演会は「北海道の雪と気象の 150 年」をテーマとし、札幌管区気象台および尾閑支部長による講演を予定
- ・ 学生優秀発表賞セッションを廃止し、各テーマの一般セッションに試行的に統合
- ・ 2025 大会からの正式な引継ぎは未了であるが、議事録および動画等に基づき、第 2 回実行委員会までに実務引継ぎを完了する予定

これらの報告を受け、公開講演会において自然災害研究協議会との共催について、尾閑支部長より提案があり、了承された。今後、白川事務局長より同協議会へ打診を行う。

#### （4）『北海道の雪氷』、北海道雪氷賞の受賞者について（審議・報告）

西田理事より、国立国会図書館からの要請に基づく機関誌『北海道の雪氷』のインターネット公開および、それに伴う「著作権譲渡・使用許諾承諾書」の文言変更について提案がなされ、了承された。

本件は学会本部の所掌事項でもあるため、2026 年 3 月開催予定の本部理事会を日程に、西田理事が学術委員長および編集委員長と対応協議を進める。

なお、「著作権譲渡・使用許諾承諾書」の文言等の微修正については北海道支部長に一任し、必要に応じてメール審議を活用する。

続いて、西田理事より、2025 年度北海道雪氷賞の選考結果について、理事会メール審議を経て決定し、9 月 17 日に表彰選考委員長から支部長へ報告された旨の報告がなされた。受賞者は以下のとおり。

##### 「北の風花賞」

富田 真未 氏（北海道開発技術センター）

論文名：「冬道での転倒者を対象としたアンケート調査 -2024 年度冬期調査報告-」

##### 「北の六華賞」

該当者なし

##### 「北の螢雪賞」

石井 吉之 氏（NPO 法人雪氷ネットワーク）

受賞名：雪氷水文学に関する研究と発展ならびに学会活動への貢献

##### 「北の螢雪賞」

松澤 勝 氏（国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所）

受賞名：吹雪時の視程障害に関する研究と発展ならびに学会活動への貢献

あわせて、『北海道の雪氷』第44号を11月に41部発刊した旨の報告がなされた。

(5) 『北海道の雪氷』の表紙写真について（審議）

西田理事より、『北海道の雪氷』表紙写真の今後の収集方法について、ワインターライフ推進協議会から提案があった旨の報告がなされた。

同協議会が主催する「北海道の冬（雪・氷・寒さ）」を題材としたフォトコンテストに共催（予定）として参画し、表紙写真を収集していくことについて了承された。

今後、西田理事を中心に、同協議会と実施に向けた実施細則の協議を行う。

(6) 2025サイエンスパークへの参加報告（報告）

渡邊理事より、2025サイエンスパークへの参加について報告がなされた。

本事業は、2025年8月6日（水）に北海道大学高等教育推進機構において、北海道ほかの主催により開催された。

支部からの出展は2回実施され、事前申込では満席であったが、当日の欠席者があり、最終的な参加者は17名であった。プログラム内容は、ドライアイスを用いた人工雪結晶の生成・観察（平松式装置の実演）、アイロンビーズによる六角対称雪結晶アクセサリー制作、雪結晶が六角形になる理由の解説、観察シートの配布等であった。

(7) 雪氷災害調査チームの活動について（報告）

原田（裕）理事より、雪氷災害調査チームの活動について報告がなされた。

【活動実績】

- ・ 2025年10月25日 「雪崩から身を守るために」共催（参加約450名）
- ・ 2025年11月25日 道政記者クラブで記者会見
- ・ 2025年12月8日 札幌国際スキー場における出動訓練

【今後の活動予定】

- ・ 事故防止・啓発を目的としたウェブカメラの設置

(8) 支部HPの移行について（報告）

齋藤理事（杉田理事）より、支部ホームページのサーバ移行について報告がなされた。あわせて、サイト作成をWordPressに移行したこと、編集性および情報発信の容易性が向上した旨の説明があった。

(9) 2025年度地域講演会の日程について（報告）

原田（康）理事より、地域講演会の準備状況について報告がなされた。

開催日は冬季五輪期間に合わせるため、2026年2月15日（日）に変更する。なお、プ

ログラム内容に変更はない。

(10) その他

次回理事会は 2026 年 2 月下旬から 3 月上旬を予定

以上